



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第127号 2025年5月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

初夏には、ほとほと雨と気温を願います



種蒔き

苗代の面積も数年かけて増えてきたし、畑に欠かせない堆肥の効果も少しずつ目に見えてきたでしょうか。それでもやっぱり肝心な天気のご機嫌を頼りにしています。

お知らせ

総会 5/25(日)14:00 ~
鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室
総会終了後、懇親会を開催します。

こども里山体験
5/24(土)10:00~14:00
(公財)鎌倉市公園協会協働開催
詳細は広報かまくら5月1日号に
掲載し、(公財)鎌倉市公園協会にて
申込受付を行います。

**ホタルの紙芝居を読んでもらう
ボランティアの方募集!**



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを観賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

お申し込み＆お問い合わせは事務局まで
電話 or Fax or メールにて

寒暖差が激しく、雨が少ない冬でしたが、生きものにも大きな影響がありました。2月に雨が降らなかったため、アカガエル類の産卵に適した日が少なく、産卵量は昨年の3分の2にとどまり約200個でした。それでも数年前は100個程度だったので、アカガエルのオタマジャクシをネットで保護している成果が出ていると思います。その後、保護したオタマジャクシを、春休み中に大量に盗られる事件が起きました。市内の他の里山でも同じような事件が起きています。心ない大人の仕業でしょう。ヒキガエルは、昨年は産卵しなかったのですが、今年はわずかに産卵しました。2月に雨が少なく、3月に真冬のような寒さがもどったことが植物に悪かったようで、ヤマザクラに先駆けて咲くキブシの花が遅れただけでなく貧弱でした。野草の花も咲く時期が遅れ、3月に咲くはずの早春の花が、4月になってやっと満開をむかえました。



ニリンソウ

● 3月から4月の谷戸で「よくなったこと」「心配なこと」
2年ほど前から、谷戸の生きものが急激に変化しているのを感じます。よくなったこと、心配なことをお伝えしたいと思います。



ウラシマソウ



ヤマユリの芽

「よくなったこと」谷戸に昔はあって今はない、ニリンソウという野草が少しずつ増えてきました。3月に大船



サラシナショウマの芽

中学の生徒さんにササを刈ってもらいましたが、ウラシマソウが増えて一面に花が咲いた場所があります。田んぼの山側の散策路沿いにヤマユリやサラシナショウマなど、貴重な野草が芽生えています。道沿いや山の斜面を刈ったためでしょう。帰化植物のナガミヒナゲシを駆除した成果が出て、今年はほとんど見かけなくなりました。最近設置したインセクトホテルに早くもハチがやってきて子育てを始めています。竹筒を出入りしている様子を観察しました。



シオヤトンボ



ヤブキリの幼虫

「心配なこと」桜が散る頃に現れるシオヤトン

ボをほとんど見ません。シオヤトンボはシオカラトンボによく似たトンボで、春から初夏にたくさん見られます。他所ではあまり見かけない谷戸ならではのトンボですが、減っているようで残念です。タンポポの花で花粉を食べるヤブキリ（キリギリスの一種）の幼虫が非常に少ないようです。シオヤトンボもヤブキリも2年くらい前から急に減ってきました。谷戸の畑で見られるトウダイグサという野草が減っています。今年は炭焼小屋西の中段の畑だけで見つかりました。現在、市内では谷戸の畑以外ほとんど見かけない野草です。

田んぼ班



去年の稲から選んだ種籾は、毎日事務局当番さんに水替えをしてもらって小さな芽を出しました。苗床・苗代に種籾を蒔くかたわら、溜池からの水路の付け替えにも取り組みました。水の管理はなかなか難しい！！



4/9 薪割り



4/5 水路付け替え

雑木林管理班



今期予定した、雑木林の除間伐、薪作り、竹林整備と、全ての作業が完了しました。しばらくは田んぼ班に合流します。田植えが終わってから土手の手入れで活動を再開する予定です。

畑班



作付け場所をずらして連作を避けている。田の脇は4区分に分けているので、今年はじゃがいも（その後大根）、たのくろ豆、にんじん&かぶ、長ねぎとなる。さつまいもは田の上上段、中段で栽培する。

農芸班



谷戸の和紙はコウゾとトロロアオイだけで作ります。コウゾの枝を切り、蒸して皮をはいで、灰で煮ます。コウゾをたたいてから紙をすきます。1枚1枚色合いも風合いも異なり、味わい深い和紙ができあがります。

生態系保全班



オタマジャクシの保護ネットを張りました。田んぼに張るのは大変な作業ですが、みんなで知恵を出し合い、力を合わせる時間は、やりがいがあります。無事にカエルになることを願い、来年の卵塊の数が楽しみです。



4/9 オタマジャクシ保護ネット完成

植物育成班



ヒメオドリコソウなどを除去する季節です。何度抜いても生えてくる生命力はすごい。油断せずに毎年続けることが大切です。手入れをしたアシハラに新芽が出てきました。保全活動の成果が目に見えると嬉しいです。

自然遊び班



里山探検隊に、今年度も、多くの子どもたちが参加してくれます。田んぼ作業に畑の作業…。保護者の皆様のお手伝い参加もお待ちしております。収穫したお米や野菜は、収穫祭でいただきます。たくさん採れるといいな。

谷戸の生きもの

オオイシアブ Amazing! Cool! Attractive!

初夏の頃、見晴らしのきく場所に陣取って獲物となる甲虫が飛ぶのを待ち構えている姿を見ることができる。その“カッコよさ”は谷戸でも屈指。ちなみに名前だが、“大きいイシアブの仲間”の意味で、“大石という名前のアブ”ではないから注意しよう。人には危害を与えないと分かっているにもかかわらず怖い外見。スズメバチほどの大きさと近くを飛ぶ羽音にはいつもびっくりさせられる。本田を見下ろす畑、炭焼小屋周辺の上などで見かけることが多く、甲虫の仲間を捕らえその体液を吸っている。私が見た限りでは獲物は決まってコメツキムシだが何故好きなのかは分からない。本人（虫）に聞いたら「そういえば昔からそうだ」「高祖父の代からと聞いている」「たまたまです」・・・どんな答えが返ってくるかな。

（たのくろまめお）



見張り



コメツキムシ捕食

オバボタルほか “昼行燈”なんて言ったら許さねーぞ



オバボタル

（野外生活体験広場）

谷戸のホタルといえば“ゲンちゃん”ことゲンジボタルと“ヘイちゃん”ことヘイケボタルが有名。ホタル観賞の人気スターたちで、時期になると週末には結構な人がやって来る。しかし一方で昼間活動し人々に知られることのないホタルの仲間（甲虫目ホタル科）がいる。オバボタルは日中活発に飛翔し、野外生活体験広場にも飛んでくるので一番見つけやすい。オバボタルなので

愛称は“オバちゃん”で決まり！ムネクリイロボタルとカタモンミナミボタルは日中、林縁の日陰の葉の上などで休んでいることが多い。いずれも1cm足らずで、幼虫は陸生。また成虫は光らない・・・かすかに光するという話も聞くが、昼間光ってもね😄「光らないホタルの観賞会」はどうかと思うが・・・誰も参加しないか😞

（たのくろまめお）



ムネクリイロボタル（小段谷戸）

体験学習

1年間の体験学習を振り返って

深沢小学校5年生の皆さんより体験学習のまとめとして話し合いを行い、下記質問を受け、当会から回答しました。生徒の皆さんでまとめて、昨年度最後の授業参観で発表したそうです。

5年生からの質問

- ① 昔ながらの農具の魅力
- ② 昔ながらの方法を受け継ぐ 農作業にかける思い

回答 深沢小体験学習担当 黒川敏史

①道具の件

山崎・谷戸の会では昔から使われている道具を地元農家さんから受け継いで使っています。皆さんが使ったのは、脱穀作業の足踏み脱穀機、唐箕です。それ以外は、鎌などを除けば道具は使わず、手作業でしたよね。手作業で行うことによって、谷戸に残る貴重な生きものや植物が守られています。谷戸の動植物は、



農作業の時期や内容に合わせて進化しているので、やり方を急に
変えると生きていけないものも出てきます。

昔から使われている道具は、ほぼ手作りなので、道具の目的、
作った人の工夫、道具の構造、動きが理解でき、動きがおかしい



と思ったら、自分で修理が可能
です。

昔ながらの道具を使うという
ことは、自然と共存してきた昔
の人の知恵や工夫を知り、そのことを考えることが伝統に学ぶという
ことだと思います。何より環境にやさしいというところが魅力です。



②山崎・谷戸の会の人たちが、どうして歴史をつないでいるのか・来たのかの思い

山崎・谷戸の会の前身の会が始まったのは、鎌倉中央公園工事開始の 1990 年にさかのぼります。鎌
倉市の公園計画が明らかとなり、鎌倉中央公園は、全体が都市公園となり、田んぼや畑は、つぶして広
場やキャンプ場になる計画でした。湿地や田んぼ、畑で子育てをしていた青空自主保育の親たち、自然
観察に来ていた人たちがその計画を見て驚き、谷戸の景観や、生態系（虫やカエル、鳥、植物）が大き
く変わってしまう！ということで、谷戸の環境を守る計画に見直してほしいと市と交渉を重ね、ようや
く計画が変更されました。

おかげで、田畑は残り、会のボランティアメンバーで農家の方
に教えてもらいながら、昔ながらの道具、山崎の谷戸で
のやり方での田んぼ、畑作業を始めました。より多くの人
に体験してもらうために小中学生の体験学習もこのころか
ら始めています。

私が会の活動に参加し始めたのはこのころで、農家の方や
会の先輩メンバーの指導を受けつつ、今まで全くやったことのなかっ
た田んぼ作業を見よう見まねで始めました。谷戸の景観、生態系を守る思いも諸先輩にたくさん聞きま
した。これまで続けてこられたのは、作業自体の楽しさ、達成感と、一緒に作業をする仲間（皆さんも
含めて）がいるからだと思います。



最後に、皆さん深小の先輩で現在田んぼ班の作業に参加してくれ
ている高校生の中村さんのメッセージです。

<<こんにちは！僕は、去年の春から鎌倉中央公園で田んぼ
の活動をしています。そのきっかけになったのは、みんな
と同じ小学校 5 年生のころの田んぼ体験でした。僕と同じ
ように「もっと田んぼをやりたい！」と思っている人もい
るのではないのでしょうか。そんな人は、ぜひ遊びに来てみて
ください！！山崎・谷戸の会への連絡お待ちしております！>>

谷戸往来

「2024 年度 賛助会員・賛助団体会員」前号に掲載せず、申し訳ありませんでした。

(敬称略) 植野ゆかり・大野兼司・鎌倉遊び基地ふかふか Largo・かまくら冒険遊び場やまもり・
後藤紀代子・小林輝代・小袋谷囃子会 田中徹・白井智子・高砂典子・館鼻靖美・田中千尋・なかよし会・
にこにこ会・端山啓子・星野彩子・丸山真美・水澤麻美・ののはな代表理事 清水 研・和田洋子

5月

3日(土)	田 畔草刈り、苗床草取り	1日(日)
	講座「谷戸の茶摘み」 ☆	4日(水)
4日(日)	田 くろつけ	7日(土)
7日(水)	畑 畑の整備 ♣	8日(日)
	植 帰化植物の除去作業	
12日(月)	畑 さつまいも苗植えの準備 ☆	9日(月)
14日(水)	生 初夏のチョウと野観察	14日(土)
17日(土)	田 くろつけ、苗代草取り	
18日(日)	田 くろつけ、しろかき、苗床草取り ☆	15日(日)
19日(月)	畑 さつまいもの苗植え ☆	
21日(水)	畑 落花生の種蒔き ♣	
23日(金)	農 紙漉き ♣	16日(月)
24日(土)	田 しろかき ☆	18日(水)
	子ども里山体験	
25日(日)	田 しろかき、紐張り、畔草刈り ♣	20日(金)
	総会 14時～	22日(日)
31日(土)	田 苗取り、田植え、紐張り ☆	
	生 夜の自然パトロール ♣	

6月

1日(日)	田 苗取り、田植え、紐張り ✕
4日(水)	植 クズの除去作業
7日(土)	田 苗取り、田植え
8日(日)	田 苗取り、田植え、苗代しろかき
9日(月)	自 里山探検隊「田植え、さつまいも苗植え」
14日(土)	畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
15日(日)	田 田植え(苗代)、補植、田の草取り ✕
	生 夜の自然パトロール ✕
	田 補植、田の草取り
	雑 土手の手入れ ✕
	自 子ども里山一日体験「じゃがいも掘り」 ▶
16日(月)	畑 じゃがいも掘り
18日(水)	植 野草の植え込み作業 講座「湿地復元」 ☆
20日(金)	農 梅干し作り(下漬け) ✕
22日(日)	田 田の草取り、田植え用具片付け
	雑 土手保全のための草刈り ☆ 青空自主保育なかよし会保全活動
23日(月)	畑 長ねぎの移植
28日(土)	生 夜の自然パトロール ✕
29日(日)	雑 下草刈り ✕
30日(月)	畑 にんじんの種蒔き

7月

2日(水)	植 土手の草刈り作業
5日(土)	生 夜の自然パトロール ✕
6日(日)	田 田の草取り ✕ 雑 土手の草刈り ☆
7日(月)	畑 さといもの草取り・土寄せ ✕
11日(金)	農 梅干し作り(赤しそ仕込み) ✕
13日(日)	田 田の草取り、畔の草刈り 雑 雑木林の下草刈り ✕
	自 里山探検隊「田の草取り、かかし作り」
16日(水)	生 初夏のカヤネズミの調査
20日(日)	田 田の草取り ✕ 雑 草刈りして水路整備 ✕
27日(日)	田 田の草取り ☆ 雑 アズマネザサの刈り取り ☆

☆ 谷戸塾
✕ 里山一日体験
▶ 非会員 参加費500円/1組
(申し込みはホームページより)



<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時～)

■夜の自然パトロール

19:00 場所:山崎口ししいし前集合 20:30頃まで

田	田んぼ班	畑	畑班
雑	雑木林管理班	農	農芸班
自	自然遊び班	生	生態系保全班
植	植物育成班		

次号(会報128号):2025年7月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

<お問い合わせ>

住所:

〒247-0066

鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:

0467-47-1164 (木曜を除く10時～16時)

ホームページ:

<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:

ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

QRコード
からHPに
アクセス!

